

別記様式（第4条関係）

会 議 録

議 題	平成26年度 第1回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会		
日 時	平成26年6月27日 13:30 ～ 15:20	場 所	大垣市役所3階合同委員会室
		事務局	大垣市社会福祉課
出席者 (欠席者)	<p>【協議会委員】※敬称略</p> <p>[出席委員(13名)]</p> <p>山田 毅彦、橋本 聖子、西川 真美、小山 亜希子、橋川 実、 馬久地 ふさ子、永田 明子、白木 裕子、長谷川 正志、出口 和宏、 日下部 良邦、伊藤 哲也、田口 道治</p> <p>[欠席委員(5名)]</p> <p>早崎 正人、北嶋 和子、成瀬 重雄、野原 弘康、伊藤 光彦</p> <p>【事務局】</p> <p>(福祉部) 中山福祉部長</p> <p>(社会福祉課) 藤課長、大澤主幹、川瀬主幹、奥田、衣斐</p>		
傍聴者数	0人	記録方式	全文・要約
藤課長 (社会福祉課)	<p>皆さん、おはようございます。定刻になりましたので、ただいまから「平成26年度 第1回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会」を開催させていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市社会福祉課長の藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、はじめに大垣市福祉部長の中山がご挨拶を申し上げます。</p>		
中山部長 (福祉部)	<p>本日は、お忙しいところ お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃は、市政全般、とりわけ障がい者福祉に関しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>昨年の12月には障害者権利条約の批准が承認されまして、平成28年4月には「障害者差別解消法」が施行されるということでございます。私たちも障がい</p>		

<p>藤課長 (社会福祉課)</p>	<p>者に対する理解促進の啓発に一層取り組んで参る所存でございます。</p> <p>また、今年度は第４期障害者福祉計画の策定の年でもあります。１つの節目の年となりますので、今後この協議会の中で随時進捗状況など報告させていただきますと共に、各部会での課題を共有し、地域における障がい者などの支援体制の整備に努めて参りたいと思っております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、それぞれご専門のお立場から忌憚のないご意見、ご提言をいただきますようお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>次に、代表者の変更等により、今回から新たに３名の方に委員としてご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>お時間の都合上、お名前のみのご紹介とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、岐阜県自閉症協会大垣市ブロックを代表されまして、永田明子様でございます。</p> <p>(永田様 起立・一礼)</p> <p>次に、大垣特別支援学校校長の出口和宏様でございます。</p> <p>(出口様 起立・一礼)</p> <p>次に大垣市小中学校長会を代表されまして、野原弘康様でございますが、本日はご都合によりご欠席でございます。</p> <p>以上でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、その他の委員の皆様につきましては、お手元の委員名簿をもってご紹介に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、議事に入らせていただく前に、本日の委員の皆様の出席状況につきまして、ご報告させていただきます。</p> <p>委員総数１８人中、本日の出席委員は１３人でございます。設置要綱第５条第２項の規定に基づき、出席人数が過半数を満たしておりますので、本協議会が成立しておりますことをご報告させていただきます。</p>
------------------------	--

<p>会長</p>	<p>それでは、設置要綱第 5 条第 1 項の規定に基づき、議長は会長をもって充てることになっておりますので、田口会長様に、ごあいさつの後、議事進行をお願いしたいと存じます。田口会長様、よろしくお願いします。</p> <p>みなさんこんにちは。今年の 2 月から会長を務めさせていただいております田口と申します。よろしくお願いします。</p> <p>今年度第 1 回目の協議会ですが、中山部長様から先ほどお話しがありましたように、権利条約が批准されたことにより、今後はそれに向けていろいろな整備が行われていくと思われます。この 4 月からは、障害程度区分が障害支援区分に変わり、ケアホームがグループホームに一元化されるなど制度も目まぐるしく変わっています。今年度はこの協議会が 2、3 回開催される予定ということですので、みなさんの積極的なご意見をお願いします。</p> <p>先ほどの紹介にもありましたが、新しく委員に就任されました永田委員、出口委員は、今日が初めてのご出席となりますので、この協議会につきまして若干の説明をさせていただきます。</p> <p>協議会は何を行うところかということですが、まず協議会の設置要綱第 1 条で「障害者の支援の体制の整備を図る中核的な役割を果たす協議の場」として位置づけられています。</p> <p>次に、第 2 条では「協議会は、次に掲げる事項について協議する。」とし、(1)「相談支援事業の運営に関すること。」(2)「地域の関係機関によるネットワーク構築に関すること。」(3)「困難事例への対応のあり方に関すること。」(4)「地域の社会資源の開発及び改善に関すること。」(5)「前各号に掲げるもののほか、協議会が必要と認めること。」の 5 項目が掲げられています。障がいのある子どもから大人まで、また、障がいの種別を超えて幅広く積極的な協議がされ、実のある協議会となることを願っております。</p> <p>それでは、本日の議事ですが、(1) 平成 25 年度各部会の開催報告で、2 月 26 日以降に開催されました 2 部会の報告。(2) 平成 26 年度各部会の年間計画。(3) 大垣市第 4 期障害福祉計画（平成 27 年度から 3 年間）で、今年度中</p>
-----------	---

<p>大澤主幹 (社会福祉課)</p>	<p>の策定が求められています。第3期計画から、この協議会にも計画に関する意見を求められるようになりました。</p> <p>では、議事(1)の開催報告を事務局からお願いします。</p> <p>それでは、事務局社会福祉課の障がい福祉グループ大澤でございます。わたくしから説明させていただきます。</p> <p>議事(1)平成25年度大垣市障がい者の暮らしを支える協議会各部会の開催報告」についてご説明いたします。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>今年2月26日に開催いたしました、障がい者の暮らしを支える協議会以降に開催いたしました、2部会についてご報告いたします。</p> <p>はじめに就労支援部会でございます。平成25年度第2回目を平成26年3月17日に開催いたしました。メンバーは、いぶき作業所をはじめとする就労支援、就労移行支援の各事業所、大垣市障害者団体連絡協議会、大垣公共職業安定所、大垣商工会議所、各障害者就労支援センター、大垣特別支援学校など33人の方にご参加いただきました。</p> <p>テーマとしましては、「特例子会社の仕組みと意義」、「福祉就労から一般就労への移行に関する事例と課題」といたしまして、大垣公共職業安定所の方から説明いただき、その後一般就労への移行事例の報告と意見交換を行いました。</p> <p>また、一般就労につなぐことと同時に、その後の定着支援、そのための関係機関の連携が必要と認識し、今後、その体制づくりに取り組んでいくことを確認しました。</p> <p>権利擁護部会でございます。平成26年3月24日に第2回の部会を開催いたしました。メンバーは、大垣市柿の木荘をはじめ、障がい福祉施設、西濃圏域の特別支援学校、西濃子ども相談センター、大垣警察署など、虐待防止法に基づく、虐待ネットワークメンバー24人にて開催いたしております。</p> <p>主な内容としましては、事前にメンバーを対象に行いましたアンケートから、虐待かどうかの判断に苦慮しているとの意見が多く見られたため、迷った場合に</p>
-------------------------	--

	<p>は、関係機関と相談して早期に判断する体制を整えるための仕組みづくりを目的とした研修会を行いました。</p> <p>講師には、岡山県障害者権利擁護センターから中田雅章センター長をお招きし、事例を通してネットワークづくりの講義とグループワーク形式による、関係機関との連携をスムーズに行うためのネットワーク構築のあり方について再確認を行いました。</p> <p>以上、平成25年度の協議会開催以降の2つの部会についての、開催内容についてご報告申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。昨年度の協議会以降に開催されました、就労支援部会、権利擁護部会について、それぞれ第2回目の報告をしていただきました。</p> <p>部会には、「子ども」、「地域移行」、「暮らし」、「相談」、「権利擁護」、「就労支援」の6部会がありまして、他の部会は去年の2月までに1回～2回開催されており、報告を受けております。</p> <p>先ほどの報告について、ご意見、ご質問などありましたらお願いします。</p> <p>就労支援部会のテーマに第2回の「特例子会社の仕組みと意義」とありますが、実際にどこかの特例子会社の方が見えたのですか。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>実際に、特例子会社の方にお越しいただくことはできなかったのですが、垂井町で取り組んでおられる会社を紹介するほか、大垣公共職業安定所の長谷川さんから特例子会社の現状や、職業安定所の取り組みについてのお話をさせていただきました。</p>
会長	<p>就労支援部会について他にご意見ございますか。</p>
委員	<p>部会の内容の中で、「本人の意思と家族の理解が必要であり」というのは、どういったことを指してみえるのか、具体的に説明をお願いします。</p>

大澤主幹 (社会福祉課)	<p>第2回のテーマでございますが、「福祉就労から一般就労への移行に関する事例と課題」ということで、私たちの取り組みの中で、生活介護施設の方から一般企業へ働く場を変えていくということがあるのですが、ご本人も能力を活かして次の職場への意識が向かず、慣れた施設でこのまま働きたいという思いがありますので、例えば、工賃などが入る職場に変わっていくといった説明をしていくなどの本人の意識を変える取り組みのことでございます。</p>
会長	<p>権利擁護部会ですが、「岡山県の事例により」の中で、「大垣市には障がい者を受け入れる入所施設が少なく、たらい回しになる可能性がある。ネットワークが構築されていないため、多機関との連携が難しいという意見があった。」とありますが、障害者虐待防止法が施行されて、2年目を迎え迅速な対応を求められる中、この問題点について今後どの様にするか話し合われているのでしょうか。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>「大垣市に障がい者を受け入れる施設が少ないのではないか」という意見が出されていたのですが、実際には虐待防止法の施行に伴いまして、一時保護施設を5施設と契約していますので、万が一虐待の一時保護の場合には施設があることの説明はさせていただきました。</p>
会長	<p>権利擁護部会についてよろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、議事(2)各部会の年間計画について、事務局からお願いいたします。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>議事(2)「平成26年度大垣市障害者の暮らしを支える協議会各部会の年間計画」についてご説明いたします。</p> <p>昨年度は、各部会を8回開催いたしました、下半期に集中してしまいましたので、今年度は各部会の検討課題等について、年間計画を立て、部会を進めたいと考えております。</p> <p>はじめに子ども支援部会でございます。資料2をご覧ください。</p>

第1回目を平成26年8月、第2回目を平成26年11月に予定いたしております。

部会の内容でございますが、第1回目は、発達障がい早期発見後の支援の充実、成人期の支援の充実、家族に対する支援の充実など、今後の相談支援体制の確立に向けて取り組みを検討してまいります。2005年4月に発達障害者支援法が施行され9年が経過しており、例えば、当時小学校1年生だった子たちも、高校生になる年齢を迎えたことになります。そうしたことから、新たな支援の体制等について検討を行ってまいります。

また、昨年度、市民への発達障がいの理解のための取り組みとして啓発マンガを作成いたしましたが、発達障がい理解の市民講座の開催などの取り組みを検討してまいります。

第2回目では、重度心身障害児の短期入所サービスを実施する事業及び利用者による、サービス利用の現状と課題について協議、検討を行ってまいります。よろしくお願いいたします。

次に地域移行支援部会でございます。

今年度は相談支援部会と合同で開催を予定しております。

第1回目を平成26年8月、第2回目を平成26年11月に予定いたしております。

部会の内容でございますが、第1回目では、知的・身体障がい者を対象に、第2回目につきましては精神障がい者を対象に、それぞれ事例に基づき、障がい者が病院や施設から地域生活へ移行するにあたり、障害福祉サービスの組み立てや医療機関との連携、地域での協力体制の調整等について、障がい別に事例を通して検討していく予定でございます。よろしくお願いいたします。

次に暮らし支援部会でございます。

こちらも相談支援部会と合同で開催を予定しておりまして、第1回目を平成26年9月、第2回目を平成26年12月に予定しております。

第1回目の部会の内容といたしましては、今後の相談支援活動に活かすため、地域活動支援センターI型の実際の利用者の状況及び課題について検討を行い

ます。

第2回目では、日中一時支援サービスの現状と課題を把握すると共に、グループワークを通して、相談支援の立場から、サービスのあり方を検討してまいります。

続きまして、就労支援部会でございます。第1回目を平成26年7月25日、第2回目を平成26年11月に開催を予定いたしております。

内容でございますが、第1回目では、「国等による障害者就労施設からの物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく、本市の25年度調達実績と平成26年度調達方針の報告を行いますとともに、福祉就労から一般就労への移行・定着支援について、現在、一般企業に実施しております障がい者雇用のアンケートの内容を踏まえ、障害者就労相談機関と今後の一般就労に向けた支援のあり方について検討を行います。

なお、資料には明記しておりませんが、平成25年度の調達実績につきましては、目標額250万円に対しまして、実績が264万4千180円と目標を達成いたしております。

平成26年度の調達方針の目標額につきましては、280万円といたしました。目標額につきましては、過去5年間の調達実績の平均値を基に算出したものでございます。調達方針につきましては、本市HPに掲載させていただいておりますので、ご自宅等でご覧いただければと存じます。

第2回目では、「福祉就労から一般就労への移行・定着支援について」と第1回目と同じテーマであります。対象を就労支援事業者といたしまして、福祉就労サービス利用者を一般就労に繋げるための支援について検討を行います。

本年度の就労支援部会につきましては、福祉就労から一般就労への流れをつくることを重点的に取り組む計画でおります。その一環として、本年度から、大垣市就労支援センター職員を1人増員させ、現在取り組んでいるところでございます。

最後に権利擁護部会でございます。第1回目を平成26年7月30日、第2回目を平成26年10月に予定しております。

	<p>内容でございますが、第 1 回目では、昨年度実施の第 2 回部会で使用した研修テキスト「岡山県虐待事例集」を活用し、大垣市の虐待事例の検証を行いながら、障がい者虐待ネットワーク体制の構築を行ってまいります。</p> <p>また、成年後見制度の利用支援につきまして、制度の利用につながった事例、今後支援が必要と思われる事例を通して、円滑に利用に繋げるための支援の検討を行う予定でございます。</p> <p>なお、資料には明記しておりませんが、平成 25 年度本市の虐待相談の実績をご報告させていただきます。相談件数が 6 件、内、虐待と認められた件数が 1 件でございます。内容につきましては、身体的・経済的虐待で、養護者からの虐待でございました。</p> <p>また、成年後見制度の平成 25 年度実績でございますが、市長申立実績が 1 件、申立て費用や、成年後見人の報酬の一部を支援する、成年後見人制度利用支援事業の利用実績が 2 件でございました。</p> <p>以上、「議事（2）平成 26 年度大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の年間計画」についてご報告申し上げます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。子ども支援部会から権利擁護部会まで今年度の計画について説明いただきました。</p> <p>このことにつきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。</p> <p>みなさんが所属されている団体や事務所のお立場から何か、ご意見ございませんか。</p>
委員	<p>計画には関係ありませんが、子ども支援部会でマンガの作成をしていただいて、みなさんに大変好評で感謝しております。</p>
会長	<p>前年度は、部会の開催が年度の後半に片寄っていましたが、今年度は前期、後期で分けて万遍なく開催される計画です。</p>

<p>大澤主幹 (社会福祉課)</p>	<p>他に無いようでしたら、次の議題（３）に進みたいと思います。</p> <p>それでは議題（３）大垣市第４期障害福祉計画について事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは、「議事３ 第４期障害福祉計画に係る国からの策定指針」について、ご説明申し上げます。</p> <p>資料４をご覧ください。</p> <p>まず、障害福祉計画は、障害者総合支援法第８８条で定められております市町村計画で、大垣市障害者計画の実施計画として位置づけており、障がい福祉サービスごとに必要な見込量を算出し、その見込量を確保するための方策を定めたものでございます。</p> <p>本年度は、第３期計画の最終年となっており、平成２７年度から平成２９年度までの第４期障害福祉計画を策定いたします。</p> <p>本年５月に国から示されました、第４期障害福祉計画に係る国の基本指針の概要でございますが、基本的には第３期指針の方針がベースとなっており、「自立と共生の社会を実現・障がい者が地域で暮らせる社会に」の理念が継続されております。その中で、指針の見直しの主なポイントをご説明いたします。</p> <p>１．障害福祉計画についてでは、平成２７年度から平成２９年度までの期間が明記されており、それ以外はございません。</p> <p>２．障害福祉計画の基本理念につきましては、③入所等から地域生活への移行の部分でございます。福祉施設から地域生活への移行、精神科病院から地域生活への移行促進が一層進められ、成果目標の見直しが変更点でございます。</p> <p>３．障がい福祉サービスの提供体制の確保に関する基本的な考え方では、④福祉施設から一般就労への移行等の推進について、目標数値に関して見直しがされております。項目自体の見直しはされてございません。</p> <p>４．相談支援の提供体制の確保に関する基本的な考え方では、①サービス等利用計画の作成及び検証を行う体制の整備について、計画相談の充実等が盛り込まれました。また、②地域移行支援、地域定着支援の提供体制の確保が新たに盛り</p>
-------------------------	---

込まれております。

５．障害児支援の提供体制の確保に関する基本的な考え方、がまるまる追加され、児童福祉法に基づく、障がい児支援等の体制整備についても計画の中で定めるようにと努力義務が課されております。

続きまして、資料４をご覧ください。

第３期障害福祉計画でございます。

この計画をベースに、第４期障害福祉計画の指針で示されました変更点等を加味いたしまして策定してまいります。

恐れ入りますが、資料５をご覧ください。

この資料では、資料４に盛り込まれております、全３１事業を「訪問系サービス」、「日中活動系サービス」、「居住系サービス」、「相談支援」など１０の区分に分けまして、それぞれのサービス内容、２４年度の計画数値と実績、及び達成状況、２５年度の計画数値と実績、及び達成状況、そして２６年度以降の課題が記載されております。

達成状況の表記でございますが、見込量確保９０％以上が◎、５０％以上９０％未満が□、５０％未満が■でお示しいたしております。

それでは、主だった事業について、ご説明させていただきます。

はじめに１ページをご覧ください。

「訪問系サービス」でございますが、居宅介護、いわゆるホームヘルプサービスをはじめ、５事業ございます。平成２４年度は計画数値３，１０９時間に対し、実績５，７０９時間、２５年度は計画数値３，３０７時間に対し６，７３０時間といずれも見込み量を確保いたしております。

今後の課題といたしましては、地域移行促進にあたり、訪問系サービスの充実による、地域定着につなげる体制整備が必要でございます。

次に、「日中活動系サービス」の中のNo.７「自立訓練（機能訓練）」でございます。この事業は、「身体障害者等を対象としたもので、病院を退院して、身体的リハビリテーションの継続や社会的リハビリテーションの実施が必要な場合に、地域生活を営む上で必要な身体機能の維持・回復等のための訓練を行うサービ

ス」でございます。

このサービスに関しましては、近隣に事業所が無い場合、当該サービスを利用される方はございませんでしたので、平成24年度、25年度ともに見込量の確保が達成できなかったものでございます。

その他、ニーズの高い生活介護、就労系の事業につきましては、いずれも見込量を確保いたしております。

課題といたしましては、No.6の生活介護につきましては、知的障がい者を対象とした施設は充実しておりますが、身体障がい者を対象とした施設が市内には少なく、送迎サービス実施などの体制づくりの促進が必要でございます。また、最近では、生活介護と就労支援事業の併用型、いわゆる多機能型の施設が増加しておりますので、こうした施設で、就労能力のある利用者の方を一般就労に繋げていく仕組みづくりを就労支援部会で行っております。No.9就労移行支援事業、No.10就労継続支援A型、No.11就労継続支援B型など就労系事業所間の連携体制を、就労支援部会等を通じて引き続き取り組んでまいります。No.13障害児通所支援事業でございますが、利用できる事業所数は13事業所と増加しているものの、市内ではひまわり学園のみとなっております。また、重度障害児施設につきましては、市内にはないため、送迎サービスの検討など、環境整備が課題でございます。

No.15共同生活援助、No.16共同生活介護です。

平成26年度から、共同生活介護は、共同生活援助、いわゆるグループホームに統合されております。

地域移行を進める上で、このグループホームは重要な役割を担うサービスであるとともに、障がい者の保護者の方の高齢化に伴う状況の中で、ニーズが高いサービスでございます。達成状況は◎であります。市内には、5事業所しかなく、第4期計画の中では、目標設定の見直しについて、検討したいと考えております。

No.18相談支援事業でございますが、今年度末までの計画相談の完全実施に向けて取り組んでいる所でございますが、緊急の対応や、手厚い個別支援を行うためには、まだまだ事業所が不足している状況でございます。

	<p>こうした実情を踏まえ、目標設定の見直しを検討したいと考えております。</p> <p>No. 2 1 「地域移行支援」とは、施設や病院に入所・入院している障がい者が、住居やその他の地域生活への移行を支援するためのサービスであります。</p> <p>つづくNo. 2 2 「地域定着支援」とは、居宅において単身で生活している障がい者等を対象に、常時の連絡体制を確保し、緊急時における必要な連絡体制や相談など必要な支援をするサービスでございます。</p> <p>この2つのサービスに関しましては、本人の意思はもとより、家族や地域の理解が必要であり、事業の推進が難しいことから、いずれの事業も、24年度、25年度ともに見込量を確保することができませんでした。</p> <p>25年度は、「障がい者の暮らしを支える協議会」の「地域移行支援部会」を通じて、保健所などの関係機関と連携を図りながら体制の整備に取りかかり、本年度も継続して事業の促進に向け取り組んでいる状況でございます。</p> <p>この体制づくりと同時に、目標設定のあり方についても見直しを検討したい事業でございます。</p> <p>No. 2 3 市町村相談支援機能強化事業、No. 2 4 住宅入居等支援につきましては、いずれも、相談支援事業の中に位置づけられた事業であり、これら事業につきましても、目標設定の見直しを行いたいと考えております。</p> <p>事業No. 2 6 「コミュニケーション支援事業」でございます。</p> <p>聴覚、言語機能、音声機能その他の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある方に、手話通訳などの方法により、意思疎通の円滑化を図るものでございますが、平成24年、平成25年ともに見込量を確保いたしております。</p> <p>また、現在、社会福祉課の窓口到手話通訳者を1人配置しておりますが、本年度から、8時30分から17時15分までと勤務時間を拡張し、開庁時間いつお越しいただいても対応できる体制にいたしておりますが、課題に記載のとおり、空白のない対応が可能となるよう、体制の検討を行いたいと考えております。</p> <p>また、手話通訳者派遣等事業におきましては、新たなコミュニケーションの手段として、従来からの要約筆記に加え、パソコンを使用した要約筆記を開始いたしております</p>
--	---

	<p>つづきまして、No.27「日常生活用具費支給」につきましては、自立生活支援用具、住宅改修費の実績につきまして、見込み量の確保が達成できませんでした。これは、障がい者の高齢化に伴い、自立生活支援用具や住宅改修を伴う居宅生活動作補助用具について、優先される介護保険制度での利用が増えたことから、達成できなかったものでございます。</p> <p>No.28「移動支援事業」につきましては、実績が下回っているのは、一人当たりの利用時間数が少なかったことが原因であります。計画相談の実施に伴い、適切なサービス内容が見直された面もございますので、目標設定については、実績を踏まえ検討したいと考えております。</p> <p>No.31「日中一時支援」につきましては、障がい者の方の活動の場、或はご家族のレスパイト等への役割を担うサービスとして、年々利用者が増加いたしておりますが、サービス事業所も10か所となり、見込量を確保しておりますが、特に夏休み等の長期休暇期間に定期的な受け入れが困難になる状況が見られ、課題が残りますので、重度心身障害児者の受け入れを視野に入れ、見直しを行いたいと考えております。</p> <p>以上、議事（3）「第3期障害福祉計画 平成24年度、25年度事業実績と今後の課題について」をご説明させていただきました。</p> <p>よろしくご協議賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>会長</p> <p>大垣市第4期障害福祉計画について、国の策定指針、第3期障害福祉計画について説明いただきまして、第3期の数値目標と平成24、25年度実績の数値との対比で表にしてあります。内容が多岐に渡っておりますが、みなさんにご意見いただく前に、今後の見通しはどの様に進めていかれるのか教えていただけますか。</p> <p>大澤主幹 (社会福祉課)</p> <p>今後の進め方でございますが、今回第3期の実績あるいは今後に向けた課題についてご報告させていただきまして、みなさまの所属している団体の方にご意見を諮りながら集約した形で、もう一度この協議会の中で意見を諮って参りたいと</p>
--	---

	<p>思っております。また、この協議会で諮った内容を基に計画策定委員会にみなさまの意見を集約した形で示したいと思っております。</p>
会長	<p>時期的には、いつごろの予定でしょうか。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>今後、みなさまの団体を通じてご意見を諮らせていただければと思っております。8月末から9月にかけてはこの協議会を開催したいと思っております。</p>
会長	<p>素案ができるのはいつ頃ですか。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>最終的な素案としましては、10月末には完成させたいと思っております。</p>
会長	<p>第3期から第4期にかけては、国の方針ですと、地域移行、一般就労に力を入れていくことや、現行の様々な支援に対する課題などいろいろお聞きしながら計画を進めていかなければならないということで、ここまでの内容でご意見お願いします。</p>
委員	<p>日中一時支援について、目標数値達成となっていますが、実際のところはどうなのでしょう。保護者の方から特別支援学校を日中一時の場として提供してもらえないかというご意見があるのですが、県の施設なので私たちが勝手にはできないのですが。</p>
会長	<p>どの事業もそうなのですが、当初の見込量が小さければ、目標達成となるわけですが、それは別としまして、特別支援学校を日中一時支援の場として使うというお話しですが、事務局いかがでしょうか。</p>
委員	<p>現在、教室の空きがなく、開放するのは難しいと思うのですが。</p>

<p>藤課長 (社会福祉課)</p>	<p>特別支援学校に通学している児童生徒の放課後の居場所という形での日中一時支援事業の利用につきまして、障がい者の親さんからは、健常児は小学校4年まで学童保育として、学校敷地内で預かってもらえるのに、どうして障がい児は学校敷地内で預かってもらえないのかという思いが強いようです。子ども達が日中活動している慣れた場所で、放課後も預かって欲しい。知的障がいがある子どもたちは、環境が変わると非常に不安定になるため、学校内で預かってもらえないかということです。また、現在は、かわなみ作業所の職員が学校に迎えに行っておりますが、移動の際の安全面などに課題がございます。そうしたことから、市としても特別支援学校の敷地内で、健常児と同じような形で預かっていただきたいと思います。既に機会を捉えて要望している内容でございますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>これは難しい問題で、県の施設ですし、全国の特別支援学校が放課後支援で開放しているところはないと思ひます。</p> <p>県内の他の特別支援学校では、福祉施設の車が迎えに来るところもありますので、大垣もそうならないかという話もあります。</p>
<p>会長</p>	<p>放課後等デイサービスが北海道で増えていると聞いたことがあるのですが。</p>
<p>藤課長 (社会福祉課)</p>	<p>放課後等デイサービスは療育や訓練をする場であり、かわなみ作業所の預かり事業は、どちらかというと学童保育の形態でございます。そのため、放課後等デイサービス事業として実施が難しいことから、市の単独事業として行っております。また、かわなみ作業所での預かり事業の更なる増員もスペース的に困難であることなどから、大垣特別支援学校での実施を要望しているものでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>知的障がいの子たちは、慣れない環境では落ち着かないという特性もあります。大垣の養護学校から旗揚げしていただいて、全国に広めていただきたいと思います。思ひます。</p>

委員	<p>枠がありまして、どうしても夏休みは埋まってしまう。健常者の方は習い事など日中活動の場がありますが、障がいをお持ちのお子様はなかなかそういった場がなくて、集中してきてしまう。柿の木荘は成人の施設なのですが、そこに児童と一緒に預かって児童特有なものがあります。場所も必要ですが、内容も充実してこないと本当の支援にはなっていないのではないかと思います。</p>
副会長	<p>私たちの団体から市長への要望も出されていた案件です。</p> <p>かわなみ作業所には実際のところ預かりのニーズは何人ぐらいありますか。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>土曜日の多い時で12、13人です。</p>
副会長	<p>受け入れは何人ですか。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>今のところ全員受け入れております。</p>
副会長	<p>今後も増えていくということですか。</p>
藤課長 (社会福祉課)	<p>年々増えてきております。1つの部屋で実施しておりますので、これ以上は無理かと思います。そうしたことから、大垣特別支援学校になんとかスペースをお貸しいただけないかと要望しているところでございます。</p>
会長	<p>今すぐ答えが出る問題ではありませんが、成人の方の日中一時は今後の課題で今回暮らし支援部会と相談支援部会と合同で第2回に「障がい者の日中一時支援の現状と課題」について話し合われますので、また報告をお願いします。</p> <p>相談支援事業所は子どもから大人まで、日中一時についての相談とかあると思うのですが、分かる範囲で何かお話しいただけますか。</p>
委員	<p>子どもに限らず、成人も日中一時支援の数が少ないということで、利用したく</p>

	<p>てもなかなか受け入れてもらえない現状はお聞きしています。重心の方も受け入れが厳しいということです。最近介護保険の小規模の事業所も日中一時を行っているところもありますが、本来の事業の他に行っている日中一時支援なので、事業所側も喜んで受けていただける現状ではないかと思っております。</p>
委員	<p>精神障がい者の方にとっても難しい問題で、居場所として地域活動支援センターで受け入れなどを検討しているところです。</p>
会長	<p>日中一時支援を行っている事業所が少なく、希望があってもなかなか受け入れられないのが現状です。今年の部会のテーマでも掲げていますので、何か1つでも前進できるよう解決する糸口がみつかると思います。</p> <p>その他のご意見はいかがですか。</p>
委員	<p>難病も障がいサービスを受けることができるようになりましたが、実際利用できている人は少ないのが現状です。就労に関しては、難病は障がいのカウントには入らないので、企業にはメリットがなく、なかなか雇い入れてくれるところがありませんでしたが、A型事業所を利用できるようになり、就労に関しては光が差してきたと思います。一般就労に向けましては、なかなか一般企業で雇い入れてくれるところがないので難しいです。開発助成金という企業に2年ぐらい助成金が出る制度があるのですが、関節リウマチの方は入っていないんです。最近薬がたくさんできて就労可能な方がたくさん見えるのですが、一般就労になかなか繋がらないのが大きな課題だと思います。</p> <p>また、特定疾患が56疾患から300疾患になるということですが、一方で枠から外れる疾患もあるようで、私たちが今の制度は守って欲しいということは要求しているのですが、今まで受けられたサービスが受けられなくなるのではないかと不安を抱えてみえる方もおります。見直し後にどうなっていくのか、また、どこまでがサービスを受けることができるのか分からない段階ですので、今後情報収集していきたいと思っております。</p>

委員	<p>昨年からハローワークも難病対策に力を入れており、難病のトータルサポーターが岐阜県で1人配置しており、その方に相談しながら就労の支援相談を行っていかうと思っております。難病の指定については、早く情報が欲しいです。企業に配慮して欲しい方が多いので、そういった理解を企業に求めていきたいと思ひます。</p>
会長	<p>今年の就労支援部会のテーマ「福祉就労から一般就労への移行・定着支援について」とありますが、もう少し詳しく説明をお願いします。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>就労に関する取り組みといたしましては、就労支援センターに1名職員を増員いたしました。そこで、まずはじめに、本人や保護者に対し、施設から一般就労への流れの理解を進めていくこと。特に保護者の方には、慣れた施設に通い続けさせたい思いがありますので、取り組みます。次に、民間企業の方が障がい者雇用の弊害になる不安や課題を取り除いていくこと。もう1つ、福祉施設の方にも福祉就労からも能力がある子は一般就労に繋げていくというような姿勢を持っていただくこと。そういった流れを作る仕組みづくりを強化していくための、セミナーや勉強会などをいろいろな立場の方を対象にして進めていく予定でございます。</p>
委員	<p>就労支援センターで1名増員していただいて、大変助かります。いろいろな施設に声かけをしていただいているようで、今後施設や企業との連携を取りながら進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>この協議会で対象となりますのが、子どもから大人や高齢者など多岐に渡っておりますので、限られた時間で全体を見渡すということは大変厳しいことですが、おとしし重心の日中一時の単価を上げていただきまして、受け入れやすくなった一方で受け入れる施設側としましては、医療的なケアが必要になってきてまして、その際施設側に医師や看護師などがいないため行うことができないという問</p>

<p>藤課長 (社会福祉課)</p>	<p>題があるのですが。</p> <p>要望が強いのは、医療的ケアが必要な超重症と言われる方々なのですが、問題は受け入れ先でございます。市では、平成２３年度から重度心身障がい者の方を受け入れられた場合は報酬を加算する制度を設けております。また県においても、平成２５年度から医療報酬の単価と介護報酬の単価の差額分を埋める制度を新設しましたが、病院側の受け入れは難しいのが現状です。病院側としましては、短期入所などで突然利用したいと言われても、その方の状態などがわからないため、受け入れることが難しいと言わざるを得ないということです。「初めて見る患者さんを受け入れるのは心配だ」とか、「福祉サービスをやったことがない」というようなところが躊躇される要因と聞いています。県ではその対応策として、人材育成研修やＤＶＤの作成などを行っていますが、なによりも、日頃から保護者の方と障がい者の方が病院に行っていて、病院側が利用者に慣れることだと思います。普段から病院を決めて利用していただくことで、緊急時もスムーズに受け入れていただければ、お互いに安心感が高まると思います。</p> <p>また、市としましては、市内の病院に働きかけているところであります。現時点では市内に受け入れることができる病院はございませんが、池田町の西美濃さくら苑さんが受け入れられるようになるなど、徐々に広がりつつあります。</p> <p>今後とも、市では、病院等に働きかけてまいります。保護者の方には日ごろから利用していただくということをしていただくと良いと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>医療的ケアが必要な方を受け入れていただけたところが非常に少なく、特に最近では本人と面倒を見てみえた方の高齢化という問題があります。暮らす場所も老健は受け入れてくれないという問題があり今後の課題でもあります。</p>
<p>会長</p>	<p>医療のお立場で何かご意見ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>医療ケアの面で、実際、胃瘻や吸痰は講習会を受ければできると思います。た</p>

	<p>だ施設によっては受けていただける所とだめな所があることは伺いました。</p>
会長	<p>重症児、超重症児の保護者の方からはショートステイの要望などがありますか。</p>
藤課長 (社会福祉課)	<p>保護者の方は、常日頃から利用するつもりはなく、何か自分に起きた時に預けることができる病院等があることの安心感を求めておられるようです。そうではなくて、保護者の方のレスパイトのつもりで利用いただき、病院側にも慣れていただくのが良いかと思います。医療的ケアは施設でも良いのですが、やはり医療機関の方が安心感を持たれるようです。</p>
委員	<p>岐阜市鷺山の折居クリニックが重的ケアの一時支援をやられている。</p>
藤課長 (社会福祉課)	<p>大垣市内にないため、岐阜市まで行っておられる方が実態だと思います。</p>
会長	<p>大垣にはないので岐阜まで行っている状況が起きていますので、近くて安心できる場所を提供していかなければならないと思います。その辺りも第4期に反映されると良いと思います。</p> <p>その他ご意見ございますか。</p>
委員	<p>暮らしを支える協議会で相談支援部会があると思うのですが、今年度合同部会しかないのですが、よろしいのでしょうか。</p>
委員	<p>市と相談事業所と2か月に1回連絡会を行っているのですが、その中で計画相談を進めていく中で、新しい指定特定の事業所が増えてきて、大垣市には基幹相談支援センターが立ち上がっていますので、指導的立場としてもう一度計画相談の基本を教えてもらう場を設けていただきたい。部会でなくても良いのですが、せっかく相談支援部会があるので、そういう場で勉強会を設けて欲しいです。先</p>

	<p>日の連絡会でもお話ししましたので、お願いいたします。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>連絡会での話しは聞いておりまして、相談支援部会と合同にしているのは、連絡会で出た課題を各部会で取り上げていく方針であります。計画相談としましては今年度最終年度ということで、100%の達成に向け取り組んでおりますので、こちらでも考えながら提示させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>部会で市から声をかけていただきますと事業所さんも参加し易いということと、100%目指すのであれば、早く行わないといけないと思います。4期の障害福祉計画にも「サービス等利用計画の作成及び検証を行う体制の整備」とありますので、それに結びつけていきたいという思いもありますので、よろしくお願いいたします。</p>
大澤主幹 (社会福祉課)	<p>指定を取っていただいた時にQ&Aとか指定の基準はお配りしているのですが、その指定をどのように行っているか市としても気になるころではありますので、どういった形で行うかということも含めまして、近いうちにお返事したいと思います。</p>
会長	<p>相談に関しましては全ての方に係ってきますので、早急にお願いしたいと思います。</p> <p>先ほど報告いただきました第3期の数値を確認しながら、第4期に繋げる意見をいただけるとありがたいですが。</p>
委員	<p>重心の預かりの件でございますが、契約は結んだのですが、実際にご利用がない。特養の方が福祉機器の設備が整っているため、どうしてもみなさんそちらをご利用される傾向があります。</p>
委員	<p>重心の子供さんは健常者の子供さんに比べ支援の時間が短いと思います。日常</p>

	<p>の通園の場所とかはありますが、内容などはひとりひとりに合っているかどうかというところがあります。数値目標を置き換えて計画を考えていく必要があるのではないかと思います。</p>
会長	<p>地域移行支援の計画数値40人に対し実績数値は1人ということで、その間にたくさんのバリアがあったと思います。ここは数値目標より前の段階の意識とか啓発の取り組みで成果を出さないといけませんが、数値では示しにくいので難しいところですね。</p> <p>その他、ご意見ございますか。</p>
委員	<p>ひとりひとりの成長に合わせてのプランがあれば、親さんも安心ではないでしょうか。</p>
会長	<p>現状はだいぶ繋がってきましたがまだ完成形ではないです。相談と事業所が繋がっていけば良いかもしれません。</p>
藤課長 (社会福祉課)	<p>現状での福祉サービスについては計画相談の中でプランを作成しますが、将来に渡ってのプランは作成するようになっておりません。</p>
委員	<p>生まれた時からの生涯プランがあれば、親さんはその都度悩む必要がない。支援が繋がっていないので、親が情報を得て足を運ばなければならない。</p>
藤課長 (社会福祉課)	<p>回答になっていないかもしれませんが、大垣市では、発達障がい児の方を対象に、「スマイルブック」と言いまして、子どもの時から成人になるまで、周りの支援者が支援の方法を記録し、それを持って小学校、中学校と進むなかで、学校の先生にも内容を引き継いでいくということを行っており、現在1,000人ほどの方が持っておられます。自ら「スマイルブック」を持って、必要な時に提示し、周りの支援者から支援を受けるといった方法を行っております。</p>

	<p>(「スマイルブック」を提示)</p>
会長	<p>将来見通しが立つような物があれば良いということですが、相談支援事業所はいかがですか。</p>
委員	<p>出会ったらずっと関わっていくのが計画相談ですので、学校が変わるとき、就職の前などみんなで協力しあって支えていく形が出来上がってきた感じがします。相談支援を勉強しながら本人、家族の方と寄り添って進めていけたら良いと思います。</p>
会長	<p>他にご意見ございますか。</p> <p>それでは、これで全ての審議を終了させていただきます。事務局にお返しいたします。</p>
藤課長 (社会福祉課)	<p>田口会長様、ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様には、長時間にわたり、貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>本日、頂戴いたしましたご意見等を踏まえ、今後の協議会運営に努めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日の協議会の会議録につきましては、市のホームページ等で公表させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、「平成 26 年度第 1 回障がい者の暮らしを支える協議会」を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>
特記事項	なし

主宰者等 署名